

大手ジーンズショップ(神奈川県相模原市)



RE-Tokyo Project レコシティ(東京都足立区)



亀よし(東京都渋谷区)



デザインバリエーション例



いぶし



ざら目



緑青



エンボス(泥目柄)

デザイン性に安全性をプラス

広がりを見せる

「硫化いぶし銅板」

近年、さまざまな分野で、“日本らしさ”への回帰が言われているが、建築分野も例外ではない。このような背景のもとに、大きく用途を広げている製品がある——「硫化いぶし銅板」(東京エンボス工業株式会社)である。銅板の硫化処理で二十年以上にわたり経験を積んできた同社が、ノウハウを活かして、これまでにない表面処理の創造を目指し開発したのが同製品である。開発に当って手本となるものがなく、試行錯誤をくり返した。「硫化いぶし銅板」の開発により、これまでごく一部の分野——寺社仏閣や屋根でしか使用されるこ

とのなかった銅に内装材としての可能性を与え、マスプロダクトの店舗向け壁材や塗装仕上げにない「本物の素材」として銅の魅力を表現することに成功したのである。「硫化いぶし銅板」は、表面テクスチャが多彩でデザイン性がきわめて高い。タイル状、パネル状、シート状と成形できるためデザインバリエーションが豊富。○3mm厚以上の銅板、真鍮板は不燃材として認定されるので安心建築であるなど、銅板ならではの長を兼ね備え、店舗内装から一般住宅に至るまで、幅広い分野で採用が広がっている。

